

総務省 Web3時代に向けたメタバース等の利活用に関する研究会（第8回）

メタバースとダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン

2023年 3月23日

日本電気株式会社

グローバルイノベーションユニット / コーポレート事業開発部門

1. NECにおけるDE&I*への取り組み
2. メタバース・アバターのDE&I*への期待
3. メタバースとデジタルツイン
4. リアルとバーチャルの連動
5. メタバースの展望

*DE&I：ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン

1. NECにおけるDE&I*への取り組み
2. メタバース・アバターのDE&I*への期待
3. メタバースとデジタルツイン
4. リアルとバーチャルの連動
5. メタバースの展望

*DE&I：ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン

多様な人々が活躍できる環境づくりを経営における成長戦略として位置付け

“Inclusion and Diversity”とは、経営/事業における成長戦略そのものです。

私たちは、国籍、年齢、宗教、性別、性的指向・性自認、障がいの有無に関わらず、ビジネス成長に向けて持てる力を最大限発揮できる職場環境を築いていきます。なお、インクルージョンが発揮されて初めてダイバーシティに価値があると考え、あえてNECではインクルージョンをダイバーシティの前に置いています。

1 人・カルチャー の変革	イノベーションの源泉であるダイバーシティの加速 多様なタレントのワークスタイルを支える働き方改革
多様なタレント人材の活躍	働き方マインドセット改革
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">20%*</p> <p>女性/外国人役員</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">20%*</p> <p>女性管理職</p> </div> </div> <p>2025年度目標</p> <p><small>※数値目標はNEC単体</small></p>	オフィスは作業空間からコミュニケーション・共創空間へ <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid #0056b3; padding: 5px; text-align: center;"> ロケーションフリー 生産性の向上 </div> <div style="border: 1px solid #0056b3; padding: 5px; text-align: center;"> オフィス コミュニケーションハブ </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid #0056b3; padding: 5px; text-align: center;"> NECデジタルワークプレイス </div> <div style="border: 1px solid #0056b3; padding: 5px; text-align: center;"> 共創空間 イノベーション創出の場 </div> </div>
適時適所適材の実現	タレントマネジメント
ジョブ型マネジメント	リーダー育成・DX人材育成
38 © NEC Corporation 2023	\Orchestrating a brighter world NEC

Gender

Disability

New Comer

LGBTQ

Multi Culture

NECのI&D推進のための専任組織であるI&Dグループでは、社内の関係部門と連携しながら、

- 女性の登用・活躍推進
- 障がい者雇用促進
- キャリア採用者や外国人社員のスムーズなオンボーディング（※）に関する諸施策
- 性的マイノリティ（LGBTQ）に対する理解・支援諸施策

を展開し、多様な人材がその個性や特性を活かしながら、能力を最大限に発揮できる施策の立案と実行、カルチャーの醸成を行っています。

※ オンボーディング：新しく入ったメンバーが早期に力を発揮できるよう、組織が新メンバーをサポートするしくみ作り

NECにおけるI&D
<https://jpn.nec.com/inclusion-diversity/about/index.html>

1. NECにおけるDE&I*への取り組み
2. メタバース・アバターのDE&I*への期待
3. メタバースとデジタルツイン
4. リアルとバーチャルの連動
5. メタバースの展望

*DE&I：ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン

メタバースが物理的な制限から解放し多様性を活かす環境をつくる

1. 無意識の偏見を減らす

アバターを介すことで、現実の社会で起こり得る、人種や性別、年齢などに基づく偏見が起きにくくなる

2. アイデンティティの多様性

現実世界では表現することができない自身のアイデンティティを表現でき、LGBTQといった多様なアイデンティティを受容するコミュニティを構築可能

3. 制限を持った人々の参加促進

身体的な障害を持つ人々が現実の世界で出会う、さまざまなハードルを克服することが可能

4. 物理的な制限からの解放

フレキシブルな働き方の実現
場所や時間を問わずに参加できるため、従来のオフィスワークに縛られないフレキシブルな働き方が可能に

5. 多様なカルチャーの対応

異なるバックグラウンドをもつメンバーも、サポートAIにより素早くカルチャーフィットすることが可能。副業・兼業等の働き方の支援にも

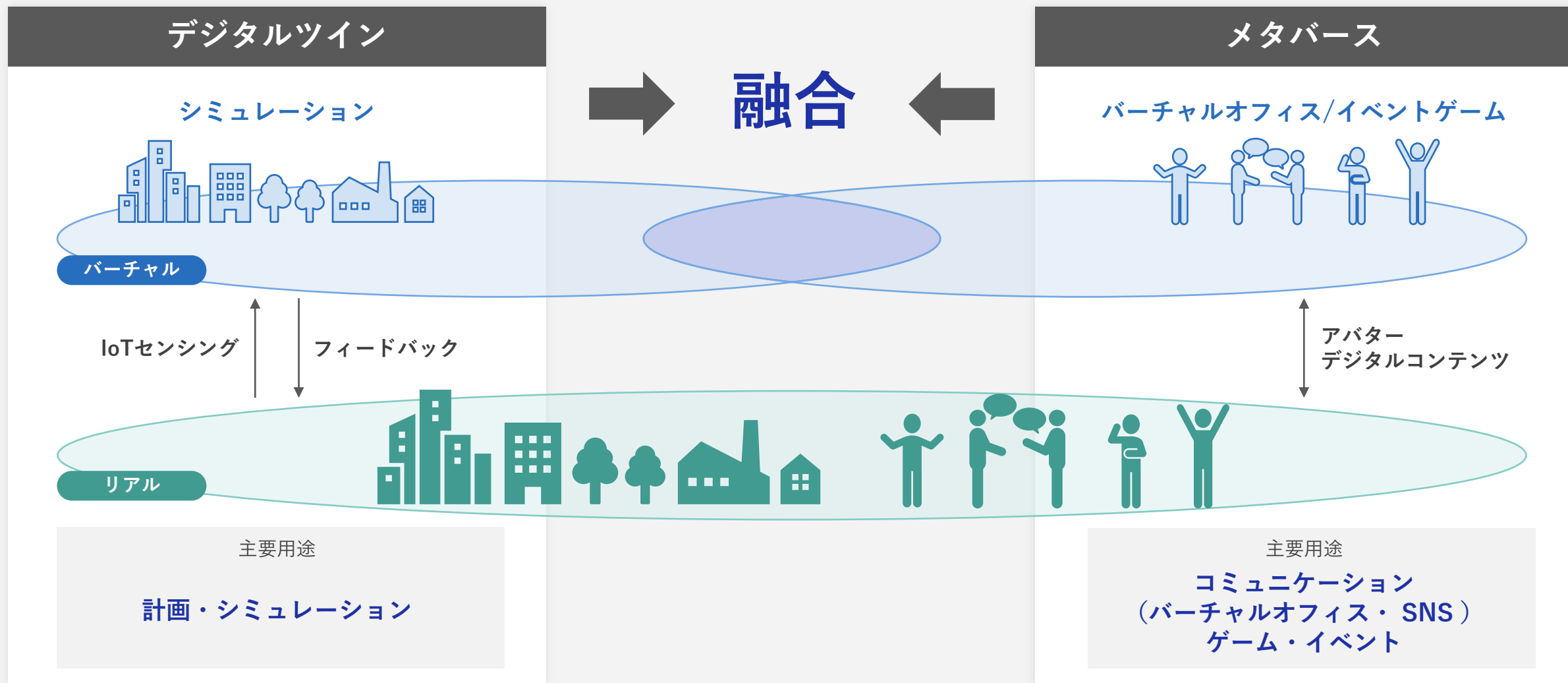
6. 多様なコミュニケーション

音声やテキストに加えて、ジェスチャーや表情なども含んだ、より多様なコミュニケーションが可能となり、言葉や文化の壁を取り払うことができる

1. NECにおけるDE&I*への取り組み
2. メタバース・アバターのDE&I*への期待
3. メタバースとデジタルツイン
4. リアルとバーチャルの連動
5. メタバースの展望

*DE&I：ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン

メタバースとデジタルツインの融合が新たな社会価値を創出



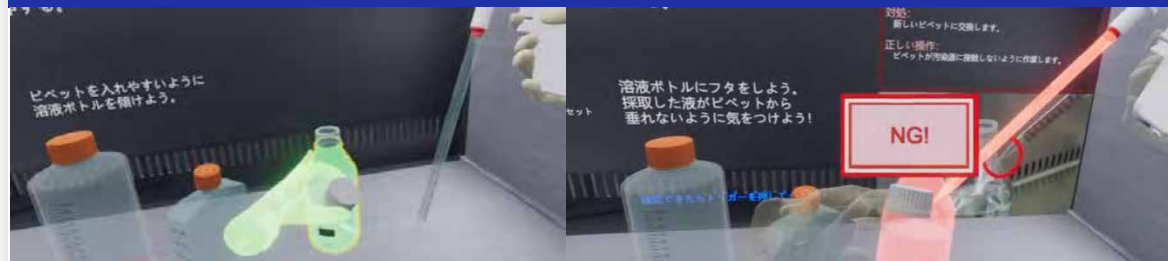
事例 | トレーニングやリモートでの共同作業、AIのサポート

ANA様 / 法人VRソリューション



客室乗務員向け機内保安訓練にVRを導入

武田薬品様 / 法人VRソリューション



ワクチン製造工程における無菌操作トレーニング

仮想空間授業を実証 / 感情分析ソリューション



デバイスから取得した行動やバイタルデータから感情の変化を分析、授業への集中度や興味を確認

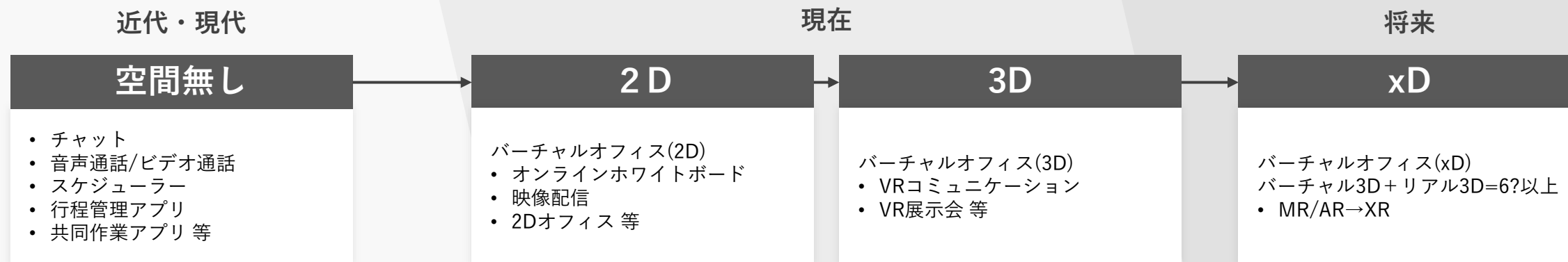
NEC Future Creation Hub KANSAI



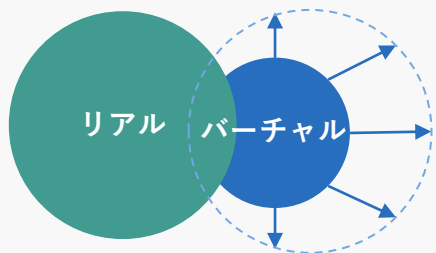
1. NECにおけるDE&I*への取り組み
2. メタバース・アバターのDE&I*への期待
3. メタバースとデジタルツイン
4. リアルとバーチャルの連動
5. メタバースの展望

*DE&I：ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン

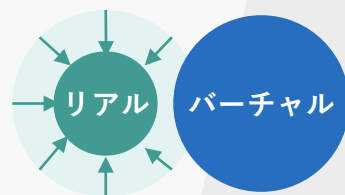
今後の可能性 | リアルとバーチャル、主従の逆転



リアルでの対面を前提としたソリューション

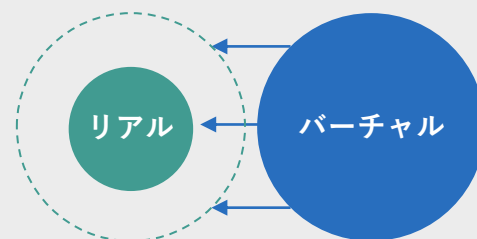


Onlineで『効率的』な情報の伝達
≡ 必要最低限の情報が伝達
= 言語情報中心



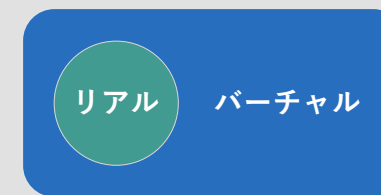
コロナ禍でリアルが減少

減少した対面機会を補完するツールの登場



リアルで保管されていた情報をバーチャルで補う為によりリアルなバーチャル空間に
= 言語情報に加えノンバーバル情報も伝達開始

バーチャルがあることを前提としたリアルの設計



情報の伝達手段としてより適切な手段(リアル/バーチャル)がとられる

安全で確実な本人確認でリアルとバーチャルの連動を支える

バーチャルにおける活動の重みがリアルの活動に匹敵

これまで以上に安全で確実な本人確認が必要



自分のデジタルアイデンティティを自分でコントロール

SSI(Self-sovereign Identity) 自己主権型アイデンティティ

DID(Decentralized Identifier) 分散型ID



マルチモーダル生体認証

1. NECにおけるDE&I*への取り組み
2. メタバース・アバターのDE&I*への期待
3. メタバースとデジタルツイン
4. リアルとバーチャルの連動
5. メタバースの展望

*DE&I：ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン

メタバースを使いこなす世代

Z世代 1990年半ば～2010年代生まれ
2030年は 20代前半～30代半ば

α世代 2010年代～2020年半ば生まれ
2030年は 6歳～10代後半

インターネット

「デジタルネイティブ」

スマホネイティブ
SNSネイティブ

「オンラインネイティブ」 *独自に命名

AIが定着
オンライン上で「体験を共有する」のが当たり前
デジタルでお金のやり取りをするのに慣れている
ウェブコンテンツがパーソナライズされるのが当たり前

教育

学びの選択肢が増える

社会への関心

社会問題・環境問題への関心が強い
多様性・ダイバーシティへの意識が高い

社会問題・環境問題への関心が強い
多様性・ダイバーシティへの意識が高い

人との関わり

同調志向がある
SNSでコミュニケーションをとる

社会問題に対して発信する
グローバルにつながり合う

消費

自分の価値観を重視しブランドにこだわらない
「コト消費」より「トキ消費」

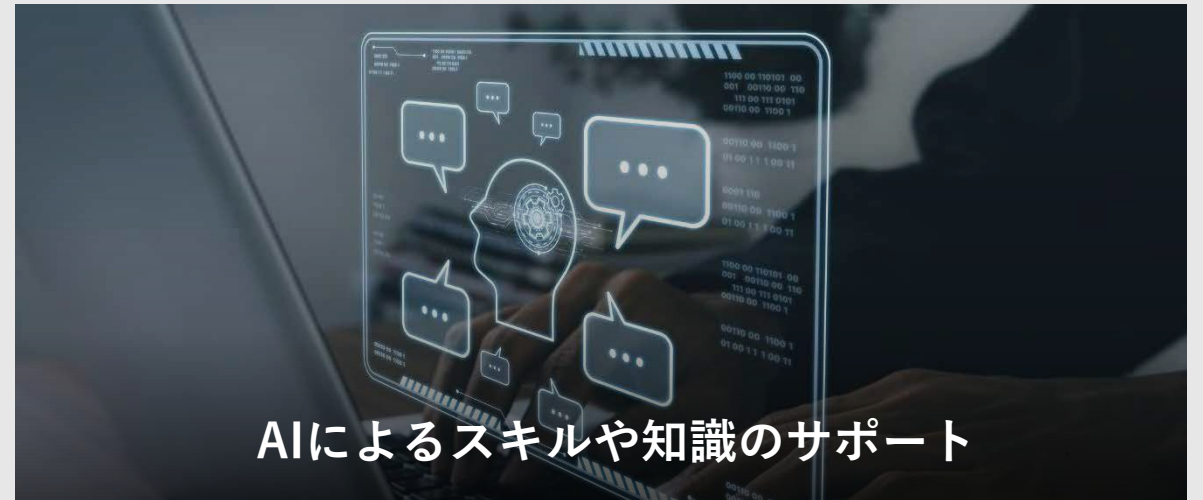
外で人に会わずに楽しむレジャーやエンターテインメントを楽しむ
アプリやオンラインゲームへの課金に抵抗がない
文字より画像を通して購買決定する

働き方

ワークライフバランスを重視

新しい職業やフリーランス、場所や時間を問わず好きに働く

安全・安心なメタバースがリアルな制限を超えDE&Iを実現



\ Orchestrating a brighter world

NEC